

学部生対象「教職キャリア形成支援ガイダンス」で 教職大学院の現職派遣院生が講話を行いました。

(令和2年1月15日(水))

教員になったきっかけ、教職への思い、楽しさを熱く語りました！



小学校については杉田亮介さん



中学校については村田由香梨さん



高校については畑山ふみさん



質疑応答が盛り上がりました

質疑応答

Q | 「通常学級にいる発達障害の特性をもつ児童生徒に対して、その児童生徒ひとりだけに関わることができないと思うのですが、そのようなときにどのような対応をすればよいのでしょうか？」

Ans. クラスの児童全体を育てていくことを大切にしています。教科担任制ではあるけれども、支援が必要な生徒に TT などサポートしてもらえることもあるので、チームとして取り組む意識が大切です。その児童生徒だけでなく、全員を対象に支援を考えていくことが必要です。

Q2「保護者からのリクエストにこたえられないかも。どのような気持ちで対応すればいいでしょうか？」

Ans. “一人の保護者の意見のうしろにはもっとたくさんの保護者の意見があると思え”と先輩に言われたことがあります。意見をいただいた保護者の話をていねいに聞き、誠実に対応することがたいせつだと思っています。しっかり話を聞いて意見を理解するとその保護者さんはきっと学校の味方になってくれます。そのように保護者一人一人に対応していくようにすることがコツだと思います。

Q3「教育実習に行くうえで大切なことは何ですか？」

Ans. はじめからうまくやろうとせずに、生徒との関係をつくるのが大切で、教科指導法などいろいろな先生を見て学ぶことが大事です。大学院での教育実習では、不安・心配なことがあれば、担当の先生に報告・連絡・相談を行うようにしていました。また、自分が実習生を受け入れた際に感じたことは、今までの自分が思いや考えは一度壊して、新たに学ぶ気持ちで臨むとよいのではないかとということです。

Q4「来年度、高校で講師として働きます。1年目に気を付けておけばよいことや、授業でアクティブラーニングを取り入れる際にどのようにすればよいか教えてください。」

Ans. 教員としてまず公務員の倫理感を大事にする事が重要です。アクティブラーニングについては、生徒がどのような形で授業内容を理解しそこから次につなげていくためにどのように思考をめぐらしていくか、またそれをどのようにアウトプットしようとしているのか、まずは生徒をよく観察をすることことをしてください。

Q5「防災教育についてどのような時間にどんな内容で取り組まれているか教えてください。」

Ans. 「自助・共助・公助」についてどのように対応をするべきか総合的な学習の時間に学年ごとにテーマを決め取り組みを行っています。何歳になっても自分の身を守ることができる知識や技術を身に付けさせることが学校の防災教育では必要だと思っています。

(まだまだ挙手は続きましたが、ここで時間切れになりました。)